

PLU/JAN コードの入力方法について

カスタマサポートツールで PLU/JAN コードを入力する場合、コードの種類によって入力する桁数が異なります。使用できるコードの桁数(種類)と入力方法について以下に記します。

① 1桁から5桁のコード

1桁から5桁のコードは PLU コードとして扱います。

PLU 番号 **1~99999**の数字を入力します。

② 13桁コード

13桁の数字が書かれているコードは、「0で始まるコード」と「1~9で始まるコード」で入力のしかたが異なります。

ご注意

02や**20**で始まる13桁コード* (インストアマーケティングNON-PLUタイプ) は、カスタマサポートツールでコードを作成することができません。インストアマーケティングNON-PLUタイプは、レジでバーコードリーダーを使ってコードを作成してください。レジで作成されたコードをカスタマサポートツールに読み込むことで、設定内容の変更ができます。

(※)インストアマーケティングNON-PLUタイプの先頭の数字、単価の桁数、単価の前のチェックデジットの有無についてレジで設定変更ができます。ここではレジの初期設定で説明しています。初期設定から設定変更された場合には、変更された設定内容に読み替えてください。



■ 0で始まる13桁コード



この12桁を入力します。

当社レジでは0で始まる13桁コードをUPC-Aとして扱います。

先頭の0を除いた12桁の数字を入力します。

左の例では 123456189010 を入力します。



02で始まる13桁コード* (インストアマーケティングNON-PLUタイプ) の場合、カスタマサポートツールではコードの中に含まれている単価とチェックデジットの部分を0で表示します。

左の例では 212340000000 を表示します。

新規コードの作成はできませんが、コード検索欄にて先頭の0を除いた12桁の数字をそのまま入力すれば、上記表記方法で示されたコードが検索できます。

(※)インストアマーケティングNON-PLUタイプの先頭の数字、単価の桁数、単価の前のチェックデジットの有無についてレジで設定変更ができます。ここではレジの初期設定で説明しています。初期設定から設定変更された場合には、変更された設定内容に読み替えてください。

■ 1~9で始まる13桁コード



13桁を入力します。

当社レジでは0以外(1~9)で始まるコードはJAN13/EAN13として扱います。

13桁の数字を入力します。

左の例では 4501234567896 を入力します。



20で始まる13桁コード* (インストアマーケティングNON-PLUタイプ) の場合、カスタマサポートツールではコードの中に含まれている単価とチェックデジットの部分を0で表示します。

左の例では 2098765000000 を表示します。

新規コードの作成はできませんが、コード検索欄にて13桁の数字をそのまま入力すれば、上記表記方法で示されたコードが検索できます。

(※)インストアマーケティングNON-PLUタイプの先頭の数字、単価の桁数、単価の前のチェックデジットの有無についてレジで設定変更ができます。ここではレジの初期設定で説明しています。初期設定から設定変更された場合には、変更された設定内容に読み替えてください。

③ 12桁コード

12桁の数字が書かれているコードは、UPC-A と呼ばれるコードです。
12桁の数字を入力します。

ご注意

2で始まる12桁コード* (インストアマーキングNON-PLUタイプ) は、カスタマサポートツールでコードを作成することができません。

インストアマーキングNON-PLUタイプは、レジでバーコードリーダーを使ってコードを作成してください。レジで作成されたコードをカスタマサポートツールに読み込むことで、設定内容の変更ができます。

(※)当社レジでは2で始まる12桁コードは02で始まる13桁コードと同一です。インストアマーキングNON-PLUコードの先頭の数字、単価の桁数、単価の前のチェックデジットの有無についてレジで設定変更ができます。ここではレジの初期設定で説明しています。初期設定から設定変更された場合には、変更された設定内容に読み替えてください。



■ 12桁コード



この12桁を入力します。

このコードはUPC-Aとして扱います。
12桁の数字を入力します。

左の例では 123456789010 を入力します。



2で始まる12桁コード* (インストアマーキングNON-PLUタイプ) の場合、カスタマサポートツールではコードの中に含まれている単価とチェックデジットの部分を0で表示します。

左の例では 212340000000 を表示します。

新規コードの作成はできませんが、コード検索欄にて12桁の数字をそのまま入力すれば、上記表記方法で示されたコードが検索できます。

(※)インストアマーキングNON-PLUタイプの先頭の数字、単価の桁数、単価の前のチェックデジットの有無についてレジで設定変更ができます。ここではレジの初期設定で説明しています。初期設定から設定変更されている場合、上記を変更された設定内容に読み替えてください。)

④ 8桁コード

8桁の数字が書かれているコードは、JAN8/EAN8 と呼ばれるコードです。
ただし、稀にUPC-E(6桁コード[後述])に対して0で始まる8桁数字が書かれているバーコードがあり、0で始まる8桁コードの入力については注意が必要です。

ご注意

先頭が0の8桁コードについては、まれに右の図のようなコードがあります。
これはUPC-Eというコードで、レジでバーコードをスキャンすると6桁コードとして読み込まれます(後述の6桁コードの説明を参照)。このようなバーコードの商品は、レジの設定操作でバーコードをスキャンさせて、コードを作成してください。
(実際、先頭が0で始まるJAN8の可能性もあります)



UPC-Eコードの場合、この部分の6桁数字で登録します

ご注意

インストアマーキングNON-PLUタイプ* は、カスタマサポートツールでコードを作成することができません。

なお、レジの初期設定では8桁のインストアマーキングNON-PLUタイプは定義(設定)されていません。

レジのインストアマーキング設定で8桁のインストアマーキングNON-PLUタイプを定義(設定)されたときには、レジでバーコードリーダーを使ってコードを作成してください。レジで作成されたコードをカスタマサポートツールに読み込むことで、設定内容の変更ができます。

(※)インストアマーキングNON-PLUタイプの先頭の数字、単価の桁数、単価の前のチェックデジットの有無についてレジで設定変更ができます。

■ 8桁コード



この8桁を入力します。

このコードは JAN8/EAN8 として扱います。

8桁の数字を入力します。

左の例では 49123456 を入力します。

インストアマーケティングNON-PLUタイプ* の場合、カスタマサポートツールではコードの中に含まれている単価とチェックデジットの部分を0で表示します。(13桁コードのインストアマーケティングNON-PLUタイプの場合と同じ表記方法です。)

(※)レジの初期値では8桁のインストアマーケティングは設定されていませんが、8桁のインストアマーケティングNON-PLUタイプも、先頭の数字、単価の桁数、単価の前のチェックデジットの有無についてレジで設定変更ができます。

⑤ 6桁コード

6桁の数字が書かれているコードは、UPC-E と呼ばれるコードです。

6桁の数字を入力します。

■ 6桁コード



この6桁を入力します。

このコードは UPC-E として扱います。

6桁の数字を入力します。

左の例では 123456 を入力します。

⑥ 14桁コード

13桁コードを14桁に拡張したコード(チェックデジットを含む14桁コード)です。

14桁の数字を入力します。

このコードはバーコードには対応していません(レジでは数字キーでコードを入力して売上登録をします)。

※ インストアマーケティングNON-PLUタイプ(13桁/12桁/8桁コード)について

カスタマサポートツールのコード作成で、13桁NON-PLUおよび8桁NON-PLUのコードは作成できません。(カスタマサポートツールのコード作成で入力した13桁や8桁のコードは、JAN13やJAN8のコードとして扱います。)

レジスタ本体でインストアマーケティングNON-PLUタイプのコードを作成し、PLU/JANデータをSDメモリーカード経由でカスタマサポートツールに読み込んで、設定内容を編集してください。

カスタマサポートツールでNON-PLUのコードを表示した場合、単価(または数量)の前にあるチェックデジットと単価(または数量)およびコードの最後のチェックデジットの部分は0で表示されます。(レジスタ本体では*で表示されます。)

※ カスタマサポートツールのPLU/JAN設定で表示されるコードの順序について

カスタマサポートツールでは、PLU/JANコードは、以下の順番で表示されます。

- (1)PLU (2)JAN13/EAN13 (3)JAN8/EAN8
- (4)UPC-A (5)UPC-E (6)14桁コード

なお、インストアマーケティングはそれぞれ対応するコード種類の中に含まれます。